

第一回開かれた学校づくり推進委員会・学校運営協議会

日時：令和7年7月12日（土）14:00～

場所：高知追手前高等学校 大会議室

第一部 式次第

1. 校長挨拶

- ・今年147周年。あと3年の大きな節目に向けた取り組み

2. 出席者自己紹介

3. 司会者選出：副校長

4. 議事

（1）学校からの説明

①在校生アンケートについて（副校長より）

- ・真面目な校風で、「学校の校則を守っている」「友達との約束を守っている」の割合が非常に高い。
- ・「いじめを許さない」、「人の役に立つ人間になりたい。」の割合が高いことも本校の特徴。
- ・上記と比べると、「将来の夢や失敗を恐れない」という項目の割合が低い。

②進路状況について（進路部長より）

- ・最近岡山大学が増えている。→1年生の岡山大学研修が影響。
- ・就職がおらず全員が合格。
- ・国公立大学の合格率は63%。
- ・難関大学の合格が現役で12名（10年ぶりに2桁）。
- ・もっと上の大学を目指すための浪人が33名。

《ご意見》

高知県全体の公立学校のレベルが低いのでは？

（徳島等と比べても難関大の合格率が少ないので県の勢いが不安）

→レベルは低いが、国公立大学の進学数は増えている。

→高校に入っている時点で、学力が足りていない。（基礎基本の復習に時間がかかっている）

- ・大学の先生を招いての模擬授業などを行っているのか？

→追手前ゼミナールで行った。23講座開講。

（2）生徒会の取り組みについて（生徒会より）

①最近の活動について

- ・ホームマッチサポートスタッフの導入→初めての導入のためスムーズな進行等に課題が出た。
- ・校外への取り組みを行っている→おうてまんの販売やクイズ、リーフレットの作成。

②学園祭について

「らんまん」や「あんぱん」など追手前に関係するものを取り入れている。

- ・生徒自治を目指したスタッフの導入。

→1・2年生の計10名で活動。

- ・全校企画（銀杏の木を作る）→追手前の団結を図る目的。

- ・有志発表。→生徒の隠れた特技を発掘したい。（条件を緩和。ただし完成が甘いと発表できない）

《ご意見》

銀子ちゃんは、やなせ先生に頼み描いてもらった。

新聞部は活動しているか？→部活動として独立。

（3）質疑

第一回開かれた学校づくり推進委員会・学校運営協議会

日時：令和7年7月12日（土）

場所：高知追手前高等学校 大会議室

第二部 意見交換

1年生の現状報告（1年学年主任）

入学してから「1. 挨拶をする。2. 自分を鍛える。3. 多様性を認める。」ことを目標に設定。挨拶に関してはお互いできるようになった。言われたことはできる素直な生徒が多い。初めての模試があったが、日々の小テスト等をみると芳しくないと予想される。
→計画や選択ができるよう時間をとっている。

2年生の現状報告（2年学年主任）

1年生のときは学力が非常に低かったが、学力的には追いついてきた。
学力以外の面では、聞き書きや研修旅行、修猷館高校の見学から刺激を受け、主体的に動くことができるようになってきた。
勉強・部活動だけでなく学校行事の活動がプラスされ、勉強時間が取れなくなっている。
心のアンケートの結果では2年生が軒並み下がっている。
→やればやるほど自分に足りないことが目につき、自信がなくなっている。

3年生の現状報告（3年学年主任）

県体・四国大会が終わり、受験勉強への切り替わりの時期。
生徒自治で体育祭の準備を行っている。
体育祭と受験勉強のどちらも達成できるよう伝えている。

事務長より

芸術ホールの地下の空調施設の更新。
東側の工事→9月末～10月に着工予定。まだ業者等も決まっていない。
今回の工事は長寿命化工事
エレベーター棟の新設（東側の工事と併せて工事）

《ご意見》

部活動は強制か？

→強制ではないが、94%が何らか部活動に参加している。

部活動が勉強の負担になることはないか？

→生徒が自分上手くバランスをとってやれている。

・生徒会の発表等に感銘を受けた。